

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2024年 9月 1日 第 62号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ㊚ (096) 297-9161

✉ amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺](#) [検索](#)

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

100
分 de 名著

「ウエイリー版 源氏物語」

9月2日(月) 放送開始

講師 安田登(能楽師)



飯田山(益城町・標高431.2m) 山頂へ臨む道

秋 彼岸会法要

9月23日(月) 祝日

午後1時30分

わたしという存在

大谷 義文

目的もなしに書店に入り、ウロウロして目に入った一冊が『現代詩手帳』5月号。

特集は「パレスチナ詩アンソロジー・抵抗の声を聴く」。本を開くと、12人22作の詩人によるアンソロジーがおさめられていた。

その中に「おなまえかいて」という詩を見つけた。作者は、生年非公表の女性。彼女の言葉を、原口昇平という訳者が平易な文体にして、想定話者と同じ年齢の子でも読めるように漢字を使用せず構成した。

幼い話者は「あしに、おなまえかいて、ママ」と6回も要求している。5回目に「すうじはぜつたい、かかないで」と、生年月日等の数字を忌避している。そして6回目、被弾して命と引き換えに「にげばなんて、どこにもなかったって」と、自

らの足が証言することを願っている。

戦闘の激しい地区では、自分や子どもが殺されても身元が分かるよう、子の名前をその足に書くことにした親もいると報道されている。

日々、死傷者数が強調された情報だけを聞いている私は、この詩を読んだ熊本地震の時を思い出した。

震災直後、地区別の死傷者数で被害の大小を量っていたが、ある方の通夜で、幼い孫が「ばあちゃん、ぼくだよ、わかる？」と、目を閉じた祖母の身体を揺らす姿で、ハツと目が覚めた。

人には名があり、その人だけの尊い存在だ。しかし私たちは、戦争ではなくても、それを無視できる資質を持つている。

私は、詩集を閉じ、自分の名を足に書き、声に出して呼んでみた。



佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

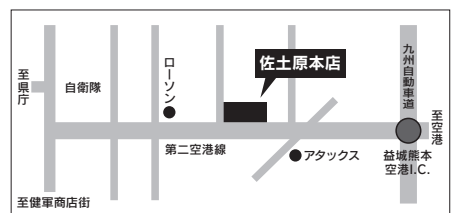
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

母歌ふ明治の校歌風鈴草

法話会

復活！

極楽浄土と地獄絵図

7月7日(日曜日)、午後から法話会が勤まりました。前回、傷みの激しい「極楽浄土と地獄絵図」の掛軸を修復しました。美しく復活した両絵図を掛け、3人で地獄のお話をさせていただきました。終了後の懇親会では「極楽浄土はどこだった」との声が聞こえました。



地獄の前に中有(49日)の旅路 大谷義文



川村智明の等活地獄



栃原真人の大叫喚地獄



極楽浄土はどこだった？

私の親友のお母さんは、今年白寿を迎えられ、熊本市西区の施設に入っております。



飯野校校歌 (田)

「ふみちゃん、ふみちゃん」と呼んでくれ、泊まりに行つた時には美味しいチャーハンとお味噌汁をよく作ってくれたものです。友の話では白寿のお祝いを公民館を借りて行つたそうですが(余りに親戚が多い為)普段は食の細いお母さんも、その日は嬉しさのあまり西瓜をモリモリ食べられたそうです。

お母さんは、益城町立飯野小学校の出身。細く

オフビート
off・beat
総代のつぶやき 50

皆さん、こんにちは。総代の森雄です。社会保険労務士としています。シャブに熱狂した、青春時代を回想したいと思います。どうぞお付き合いをお願いします。

阿弥陀寺でも何度も演奏された、チェリストの新井光子さんがCDを発表されました。私も聴かせていただきました。

新井さんは現在、様々なジャンルでご活躍されていて、最近ではあの昭和の大御所「マヒナスターズ」のバック演奏も務められました。

今回ジャズを収録した「TAKATA」。ピアノ、ドラムスそしてチェロのトリオ

御修行奮闘記
釋 博真(栃原真人) 第47回

今年もお盆参りが勤まりました。あの世に旅立たれた方々が帰ってくる

あるご門徒さまのお宅に伺ったときのことです。正座をして、ふと隣

を見ると、盆提灯が猛スピードで回転しています。クーラーの強風が丁度よい

角度で当たっていたのが回っているかもしれないと、皆さまと笑いました。

リオ演奏で全10曲収録されています。どの演奏も素晴らしい。どの演奏も素晴らしい。

美しいタッチの歌島さんのピアノ。ビビッドなドラムの角田健さん。そして、チェロの新井さん。その中で新井さんの気品のあるイマジネーションに満ちた美しい演奏が特に光っています。

今後の益々のご活躍が楽しみです！

また別のお宅では、一歳半のお嬢さんがお経に合わせて、体を揺らしている気配がありました。

また、お茶をいただきたい時「お盆は穢き時ですね」とニヤリと言われたので「色んな考え方がありますよね」と言葉

を濁すと「お疲れさまです」と大きく笑われたこともありました。

忙しい合間に、気が休まる出来事でした。

『肥後山中隠雲毛』
釋 智明(川村 智明) 第26回

お参り先で「今年の夏は今まで一番暑い」という声を聞かない日はありませんでした。日本では多くの地域が連続猛暑日を更新する記録的な年となりました。

先日、何気なく報道番組を見ていた時です。あのコメントが、「危険な暑さの中、私たちは

『大江戸日記』
釋 芳隆(大谷 隆) 第10回

「歪む」。心や行いが正しくなくなるとい意味を持つ。

ある心理学者はパリ五輪選手へのSNS誹謗中傷問題に対して、「ゆがんだ正義感」と表現した。応援する選手が負けたことを我がごとのように捉え、相手選手を攻撃することを正しいと考える心理で

クーラーによって生かされている」と言っています。私はこの言葉を受けて背筋が凍るような恐怖を覚えました。自分の命が機械に握られている感覚は今までなかったからです。

ある。ただ、この問題が昨今のSNS社会の影響で明るみになったと考えると、元々我々の心や行いは歪んでいたのではないかと思ってしまう。

冷房機器の歴史は古く、日本では大阪金属工業所(現ダイキン工業)が一九三七年に試作機を完成させました。そこから緩やかに普及し、

先日、テレビで、生態系を壊すアメリカザリガニの問題が取り上げられていた。最近では、外来種排除の声が多いなか、私も何となくそちら側に立ち、口先だけで意見することが増えた。ふと幼

一九九六年には東京の地下鉄全線で完備となりました。人々がより暮らしやすくなるための機械が広まり、生活の質が向上したと思われました。しかし、それらのエネルギー消費量の増加が、現在のような気候危機の一因となりました。私たちの夏は、知らず知らずのうちに「クーラー」に依存せずには生きられなくなっていました。

また別のお宅では、一歳半のお嬢さんがお経に合わせて、体を揺らしている気配がありました。また、お茶をいただきたい時「お盆は穢き時ですね」とニヤリと言われたので「色んな考え方がありますよね」と言葉を濁すと「お疲れさまです」と大きく笑われたこともありました。

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間)
益城町富岡 547-3 096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.jp

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 33万円より 税込み
他のプランもございます。以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金
1日葬プランもあります。19.8万円(税込み)より

成人部 漢字/臨書/かな/ペン/くらしの書(実用書道)

生徒部 幼児・小中学生 各学年(毛筆・硬筆)

生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

秋 彼岸会 法要

日時・9月23日(月曜日)

午後1時30分から読経・法話

法話・中井賢隆 布教使(大阪・最勝寺住職)

はがみちこ 布教使(岡山・正覚寺・大学講師)

有馬 麻衣子 布教使(長崎・正覚寺坊守)

演奏・ポヤポヤ ※終了後、懇親会あります。

寺子屋 「語りの秋」 寺子屋 「歳暮の会」

中止のお知らせ

8月下旬から、阿弥陀寺納骨堂増築工事、台所改修工事を着工しています。工事期間は、来年1月下旬までがかかる見込みです。

そのため、令和6年11月3日(日)の「寺子屋・語りの秋」、12月21日(土)の「寺子屋・歳暮の会」を中止とさせていただきますことになりました。お忙しいなか予定をいただいていたいましたご講師の方々、楽しみにされていますが、ご了承をよろしくお願い申し上げます。

令和7年は、「寺子屋」を開催する予定です。「阿弥陀寺だより」1月号にてお知らせをいたします。

猫伏石の声

○納骨堂増築 台所改修工事の お知らせ

皆さまに、納骨堂の増築工事、台所改修工事が着工しましたことをご報告申し上げます。

平成27年に、本堂に併設されていた納骨堂を2階建てにする増築工事を行いました。あれから8

年が経過し、すべての場所が使用されていることから、昨年より工事の計画に取り組んでまいりま

100分de名著

放送日のお知らせ

講師、安田登(能楽師)
「ウェイリー版
源氏物語」

源氏物語

NHK Eテレ

月曜日

10時25分〜10時50分

再 金曜日

15時05分〜15時30分

第1回 9月2日 再6日

第2回 9日 再13日

第3回 16日 再20日

第4回 23日 再27日

した。開発に関する土木工事もあり、大規模な工事となります。

一定期間、納骨堂への参拝に支障をきたすこととなります。10月以降、納骨堂へ参拝される際には、お寺へ問い合わせをお願いします。

ご迷惑をおかけ致しませぬことご了承をお願い申し上げます。

また、工事等に関わる費用を皆さまにお願いすることは一切ございませんのでご安心、願います。

アース・ウェイリー(イギリスの東洋学者。中国や日本の文学作品の翻訳)の訳した『源氏物語』について、9月Eテレで放送される「100分de名著」でお話されます。原文に忠実でいながら、とても斬新な訳のウェイリー版をさらに詩的な日本語で訳された、穂矢まりえさんと森山恵さんのらせん訳。まったく知らなかった源氏物語世界が出現します。

葬儀・祭壇

熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社

しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848